

拝啓

益々御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社製品をご愛顧下さり有り難く厚く御礼申し上げます。

日頃よりXBT並びにXCTDを御使用いただいておりますが、このたびXCTDシステムをお使いの際、計測データが保存できないままソフトウェアが制御不能となる場合が確認されました。弊社では不具合対策を検討中ですが、現在XCTDをお使いの方々に、不具合発生を避けるべく、以下にその内容と回避方法をご案内申し上げます。

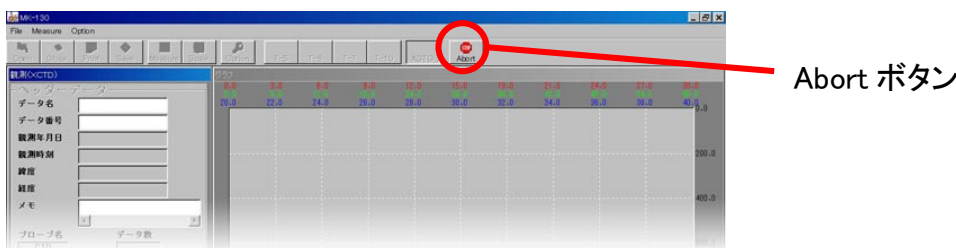
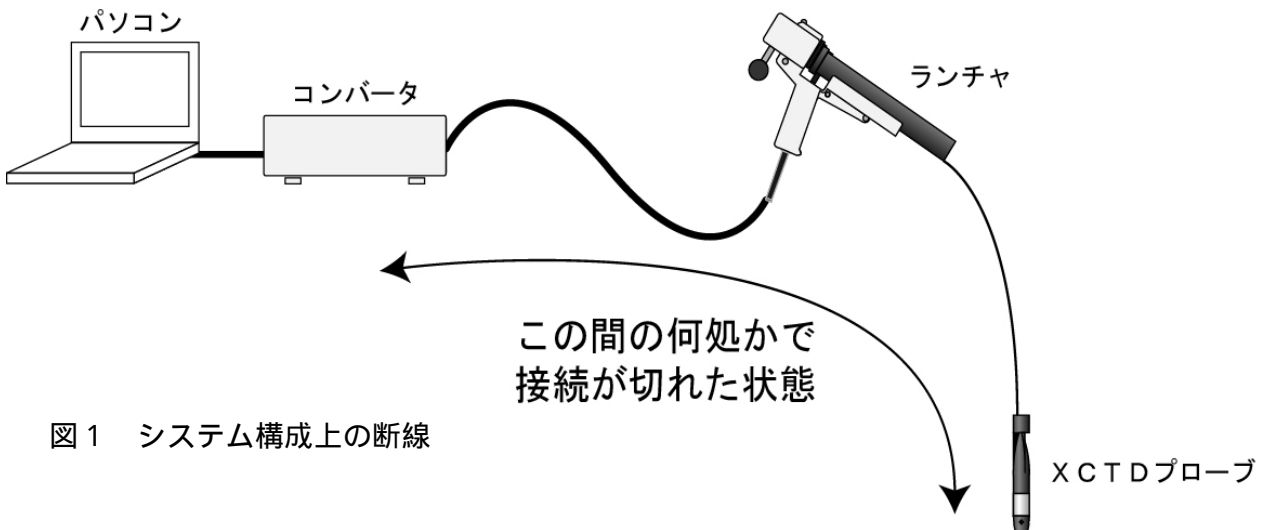
### 1. 不具合発生に至る状況

XCTDは計測中、以下のような場合にプローブとコンバータ間の物理的接続が切断される場合があります。

- ・プローブ着底時の衝撃による、プローブワイヤ切断
- ・プローブ投下中の、船体とプローブワイヤとの擦れによる、ワイヤ切断
- ・ハンドランチャのピン等の接触不良
- ・その他、各部接触不良など

プローブとコンバータ間の物理的接続が切断された状態(図1)で、計測が終了する前にXCTD用ソフト画面上のAbortボタン(図2)をクリックすると、ソフトがハングアップ状態となり制御不能となります。この状態では、計測データは保存されていません。

(XBTでは、この状況は発生しません)



## 2 . 回避方法

本不具合は、コンバータとプローブ間の物理的接続が維持されている状態では、発生しません。計測画面上で正常データが表示されている場合は、コンバータとプローブ間の接続は維持されています。

コンバータとプローブ間の接続が切れた場合、コンバータの LEVEL 表示バーグラフ（図3）が消灯します。



図3 MK-130 LEVEL 表示バーグラフ

通常XCTD計測を中断する場合は、計測終了前にXCTD用ソフト画面の Abort ボタンをクリックしますが、コンバータとプローブ間の接続が切れた状態では、Abort ボタンによる中断を行わないでください。接続が切れた状態で計測を中断する場合は、一切操作をせずにそのまま 30 秒以上お待ち下さい。お待ちいただくと、自動的に“無通信タイムアウトエラー”の状態となり計測を終了します。無通信タイムアウトエラー後、XCTD用ソフトは自動的に計測終了状態となります。

### 無通信タイムアウトエラー

XBT/XCTD デジタルコンバータ MK-130 は計測シーケンス中、プローブとの間で信号の送 / 受信を行っています。

コンバータがプローブからの信号を一定時間受信できなかった場合、プローブとの接続状態が維持されていないと自動判断し、“無通信タイムアウトエラー”の状態で計測を終了します。

## 3 . 今後の対応について

弊社では、プローブとコンバータ間の接続が切れた場合でもソフトウェアが制御不能とならない対策を検討中です。ユーザーの方々にはたいへん御迷惑をおかけいたしますが、対策がまとまり次第改めてご案内させていただきますのでそれ迄の間、上記回避方法での御使用をお願いいたします。

ご案内の内容は、弊社ウェブサイトでも公開しています。

弊社ウェブサイト：<http://www.tsk-jp.com/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社鶴見精機 品質保証部 三瓶茂

電話：045-521-5252

FAX：045-521-1717

e-mail：sanpe@tsk-jp.com